

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年6月8日

【認知症対応型共同生活介護用】

【評価実施概要】

事業所番号	2775201003
法人名	なにわ保健生活協同組合
事業所名	びろうじゅ高倉
所在地	大阪市都島区高倉町2丁目3-4 (電話)06-6929-0012

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成21年5月28日

【情報提供票より】(平成21年4月23日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年3月1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	9人	常勤	2人, 非常勤 7人, 常勤換算 8.4人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2階建ての	1階 ~	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	59,000円	その他の経費(月額)	35,000円	
敷金	④(180,000円) ※入居申込金として 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	④(180,000円) 無	有りの場合 償却の有無	④ / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,200円			

(4) 利用者の概要(平成21年4月23日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	2名	要介護2	3名		
要介護3	2名	要介護4	1名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 87歳	最低	78歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 尽生会 聖和病院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

なにわ保健生活協同組合が、医療、保健、介護・福祉のネットワークの基、「もうひとつの我が家」を目指して建てられたグループホームです。駅から徒歩圏の静かな住宅街に立地し、商店やスーパー、医院がそばにあり、買い物や受診等の環境に恵まれています。毎日の生活にメリハリをつけ、行事計画や利用者好みのレクリエーションの開発に努め、地域に根差したホーム作りとしてボランティア、生協組合員共々に活躍の場を広げています。個人別レクリエーションシートを作成し、歌体操、手芸、フラダンス、ピアノ演奏、園芸、朗読等のボランティアと共に、利用者のさまざまな楽しみを見出しています。建物2階のベランダには菜園が作られ、近隣のボランティアの手入れと利用者の朝夕の水やりで、季節の野菜や花を育てています。苺をたくさん収穫し、利用者とともにおやつとして食べました。職員は認知症ケアのマニュアルやびろうじゅ行動指針に基づき、利用者の自立支援を支えながら様々な地域との結びつきに取り組んでいます。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4)
	前回の外部評価で示された事項については、職員全員参加し会議等で話し合い、改善に向けて取り組んでいます。入浴の回数については、週3回を実施し、毎日入浴される方もおられます。災害時の水や食料なども備蓄しています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価については職員も検討を行い、意見を述べて管理者がまとめています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議には、家族、町会長、地域代表者、地域包括支援センター職員が参加し、年に3回開催しています。会議では利用者の生活状況や行事の報告を説明し、ボランティアの情報ももらっています。会議で得た意見を地域とのかかわりやサービス向上に活かせるように努めています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族の面会時には利用者の様子を伝えています。面会の稀な方については家庭を訪問することもあります。預かり金については、家族へ領収書コピーを付けて報告し、確認を得ています。家族会は年に数回開催し、様々な意見交換をしています。職員の顔写真を掲示して欲しいという要望に答え、準備を行っています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホームは近隣の自治会に加入し、回覧を回す関係作りができています。町会長、地域の方、生協組合員の協力のもと、園芸のボランティアによる菜園作り、歌体操、外出時の付き添い、また手芸のボランティアの方の協力により、牛乳パックで保険証入れや診察券入れを作成し、病院の窓口に置いて住民に利用が広まってグループホームの理解につながっています。また近隣中学校で開催される地域の敬老会に招待され、利用者全員で参加しました。夏祭りではお神輿がホーム前に止まって踊りを披露する等、子どもたちの姿に利用者も喜んでいました。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「認知症についての正しい理解および介護サービスについての専門的な知識と技術を持つ職員によって、一人ひとりの状況と希望に合わせたサービスを提供していきます。個々を大切にし、家庭的な雰囲気の中で馴染みのある人間関係を形成し、不安を感じることはないよう、さりげなくかつ温かいサポートにより毎日が実りある生活になるよう支援します。個々の生活歴を大切にし、個々に適した取り組みを提案し、残された機能の能力低下防止に努めます。」をホームの理念として掲げ、利用者が安心して暮らせるよう指針とし、地域住民と共に支えています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホームの理念を掲示し、また毎月の会議で話し合っ確認し、日々の仕事に活かせるようにしています。利用者一人ひとりの生活を尊重した「もうひとつの我が家」を目指しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
3	5	<p>○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている</p>	<p>ホームは近隣の自治会に加入し、回覧を回す関係作りができています。町会長、地域の方、生協組合員の協力のもと、外出時の付き添い、歌体操や園芸等のボランティアの協力を得ています。手芸ボランティアから牛乳パックと端布で診察券や保険証入れの作り方を教わり、病院で使用しています。保険証入れは病院に来院する患者にも利用が広まり、グループホームの理解に繋がっています。また近隣の中学校で開催される地区の敬老会にも招待され、利用者全員で参加しました。夏祭り際には、お神輿がホーム前に止まり踊りを披露してもらう等、子どもたちの姿に利用者も喜んでいました。</p>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p>○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価、外部評価の意義は理事長をはじめ、管理者や職員も良く理解しています。前回の外部評価結果については、家族や職員にも報告を行い、具体的な検討・改善に取り組んでいます。今回の自己評価は管理者を中心に作成し、職員の意見を反映しています。前回改善項目であった入浴の回数については、週3回実施し、毎日入浴される方もおられます。災害時の備蓄についても取り組みを進めています。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には、家族、町会長、地域代表者、地域包括支援センター職員が参加し、年に3回開催しています。会議では利用者の生活状況や行事報告について説明しています。ボランティア情報等、会議で得た情報や意見は、地域との関わりやサービス向上に活かせるよう努めています。	○	運営推進会議は年に6回、概ね2ヶ月に1回の開催が求められます。また運営推進会議の規程作成が求められます。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センター職員とは情報交換や疑問に答えてもらうという形で、日頃から交流を図り、市とともに事業の適正な運営やサービスの向上に取り組んでいます。これまでに事故報告を行うような事例はありませんが、今後、事故報告書については、市へ報告する程度を確認することが望まれます。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時には利用者の様子を伝えており、面会のまねな方については家庭を訪問することもあります。預かり金については、領収書のコピーを付けて家族へ報告し、確認を得ています。また、法人として伝えることなどを発信しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置しています。家族会は年に数回開催し、様々な意見交換をしています。家族の要望に応えるべく、職員の顔写真を掲示する準備を行っています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職は最小限に抑えるように努め実現しています。また家族の面会時には新任職員の紹介をしています。認知症の利用者にとってなじみの関係は大切なことであり、今後とも異動を最小限に抑えることが期待されます。職員の異動については、家族等へ送付する紙面等で紹介されてはいかがでしょうか。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修、内部研修ともに参加する機会を設けています。研修案内を掲示し、誰でも参加できるように配慮しています。伝達研修の実施や資料についてもきちんと整理し、閲覧の機会も作っています。新任職員が業務にスムーズになじめるようマニュアルを作り、教育係を決めて教えるなど工夫しています。また、研修報告書の提出もあります。年間の計画も作られてはいかがでしょうか。	○	年間研修計画を作成し、年6回以上研修を実施することが求められます。そのうち2回は外部評価に参加し、「認知症」「感染症」「緊急時対応」についての研修内容を含むことが求められます。また研修内容を全職員に伝わるよう伝達研修を実施することが求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大阪認知症高齢者グループホーム協議会の総会や研修の情報を得ています。また、生協内のグループホームと見学や交流を図っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員は、新しい利用者がホームで生活リズムをつかめるよう支援を行い、馴染みの関係を築き、本人が安心して利用できるよう働きかけています。また、自宅や入所施設を訪問して面接の機会を作るほか、本人や家族にホームを見学してもらい、ホームでの生活に納得が得られるよう努めています。見学のほか、何日か宿泊体験をしてもらう体制も整えています。できるだけ自宅に近い環境を準備するようにしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごすことを大切にし、利用者一人ひとりの能力を発揮できる機会を持っています。「好きなものリスト」を作成し、洗濯物のたたみ方や食器の洗い方、裁縫の得意な方からは編み物を教えてもらっています。その他、ピアノの弾き方、漢字や百人一首の読み方を利用者から教わっています。職員は利用者から励ましを受けることもあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で声かけ、状況把握に努めています。入居前には、本人や家族から得た入居に至るまでの情報を記述しています。また、本人のアルバムや手紙などを見ながら、昔の思い出を話題にしたり、個人別レクリエーションシートをまとめたりする等、楽しみのある暮らしを実現しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月1回全職員が参加して、介護計画についての話し合いをしています。入居時に利用者、家族、関係者からアセスメントを取り、利用者の希望に沿える計画になるようにしています。またアセスメントシートを作成し、身近で細かな情報を収集しています。サービス担当者会議は関係者にも参加してもらい開催しています。作成した介護計画書について利用者、家族から同意のサインもあります。	○	要介護認定を再認定した時や介護度に変更があった時は、再アセスメントの作成が求められます。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画については6ヶ月ごとに見直しを行っています。目標については、日々の記録や随時の会議での話し合い、利用者の状態変化や状況、家族や利用者の要望に応じて見直しています。評価会議、ケース検討会を開催して評価を行っています。モニタリング記録や見直された介護計画書もあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同法人の医師による往診や訪問看護ステーションの看護師との医療連携を行い、希望があれば通院支援も実施しています。地域の介護相談に応じ、入居の手続きについて質問され、対応しています。利用者がかかりつけ医に通院する時は送迎を支援しています。医療生協の車を借りて遠足や通院支援を行っています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	法人クリニックの隔週の往診と、定期的な訪問看護師の訪問、往診の時には家族の方が直接医師から話を聞く機会もあります。受診結果については家族に報告しています。また、歯科は予約を取って治療に通ったりしています。緊急時対応についても協力病院を確保しています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りの指針を作成しています。入居時には家族へ詳しく説明して同意書をもらっています。同法人の訪問看護師や医師、家族、職員がそれぞれの役割を持って、ホームで終末期を迎える体制を整えています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	勉強会やミーティングの際に職員一人ひとりが、プライバシーに関する意識の向上を図るよう取り組んでいます。また、日々の介護の場面でも丁寧な言葉遣いで、利用者を尊重した対応を心がけています。利用者の誇りやプライバシーには注意を払っています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日の日課は決まっていますが、その時々に合わせて食事の時間帯にも余裕を持たせています。デイサービスに通ったり、おやつを買いに出かけたり、花の手入れをしたり、できることへの支援を行っています。時間もマイペースを尊重し支援しています。気候や利用者の状態に合わせて買い物をしたり、カラオケをしたりと常に臨機応変に取り組んでいます。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	昼夕食は同法人配食サービスから届けてもらっています。みそ汁やごはんはホームで調理しています。朝食はホーム内で調理しています。日曜日には昼夕共に利用者の希望を聞いて調理しています。職員は利用者と同じ食事を摂りながら話題作りをしたり、さりげなくサポートをしたりしています。利用者も食事の準備や片付けを職員と共に行っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は週3回実施しています。毎日の入浴を希望する方、夕食後や就寝前などの入浴にも対応しています。またリフト浴も可能で、利用者に合わせた入浴支援を行っています。毎日入りたい方の要望も受け入れて、夕食後や就寝前にも対応し、ゆっくりとくつろいで入浴できるよう支援をしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常のレクリエーションについては個別のリストを作って楽しむように努めています。また、洗濯たたみ、食事作り、買い物や掃除、菜園の手入れや収穫等、利用者のできることを探して取り組んでもらえるようにしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的に外出する機会を作り、月・水・金・日曜日は食材、木曜日は日用品を利用者と共に買出しに出かけています。また朝夕の水やりをしに、戸外の花壇へ行くこともあります。夏祭りやお神輿の見学、年間の行事計画に沿って遠足やドライブを楽しんでいます。また家族と共に喫茶店に行く等、外出する機会が多くあります。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関ドアは開放しており、手で自由に開閉できるようになっています。今のところ開けて外出される方はありませんが、外出希望の方には一緒に出かけて買い物や散歩をして納得してもらっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害マニュアルを作成し、職員に周知できるようにしています。マニュアルも定期的に見返し、事故発生の防止に努め、AED（自動体外式除細動器）も設置しています。また個別危険リストを作成し、一人ひとりに合わせた事故防止に努めています。消防署の協力を得て避難訓練に取り組んでいます。また災害時に備えて、水やレトルト食品等を備蓄しています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスについては、同法人配食サービスの管理栄養士のアドバイスを受けてカロリー計算をしたバランスの良い献立です。食事摂取量について毎回確認し、記録をしています。水分摂取量については、毎回の食事やティータイムの時に水分補給に気をつけ、脱水予防に努め記録しています。水分制限のある方にはゼリー等を勧め、注意しながら対応しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングから見えるところに「びろうじゅガーデン」を設け、菜園で育てたイチゴや紀泉の花を咲かせ、誰もが楽しめるように工夫しています。共有部分は、利用者のできる範囲で掃除機を掛けたり、ホウキで掃いたり、手すりを拭くなどして清潔感を保っています。リビングには、写真や季節毎の壁紙があり、またレクリエーションも様々な道具を設置しています。またテーブル以外にも一人でくつろげるようソファも設置しています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はできる限り、自宅の部屋を再現できるよう配慮しています。エアコンとクローゼット、洗面台は備え付けていますが、ベッドや机、使い込んだタンスや鏡台、またイスやピアノ等は持ち込んでいます。家族の写真やアルバム、孫の作品や行事でもらった作品などを飾るなど、居心地よく過ごせるよう工夫しています。		